

2013 年度第 1 回理事・企画委員会

理事会議事録

1. 日時及び場所 2013 年 3 月 7 日(土)10:30~11:25、40~12:00
東京都渋谷区渋谷 4-4-25
青山学院大学青山キャンパス 17 号館 3 階(17305 教室)

1. 理事総数 15 名

出席理事数 10 名 赤松幹之、木暮祐一、安藤明伸、大森正子、大門樹、
川野常夫、丁井雅美、萩原啓、長谷川聡、古川宏

委任状出席 5 名 宮尾克、岡田明、篠原一光、渋谷雄、田中成人、

企画委員：境薫、長谷川旭（委任状出席：大川努、大杉淳、福島かなえ）

監事：伊藤肇、松沼正平 事務局：都築

1. 審議事項 議案 平成 24 年度事業報告と収支決算の件
議案 平成 25 年度事業計画と収支予算の件
議案 シンポジウムの件
議案 モバイル研究会の件
議案 研究奨励賞について
議案 学会論文誌投稿規定の変更について

1. 議事の経過の概要及び議決の結果

上記のとおり理事全員が出席したので、理事 赤松幹之が選ばれて議長となり、議長席に着き、議案の審議に入った。

議案 平成 24 年度事業報告と収支決算の件

まず、平成 24 年度会員動向について理事 赤松幹之から報告がなされた。その後、平成 24 年度会計報告が理事 赤松幹之より報告がなされ、全員異議なく承認した。続いて、平成 24 年度事業報告が理事 赤松幹之より報告がなされ、全員異議なく承認した。

議題 平成 25 年度事業計画と収支予算の件

平成 25 年度事業計画について理事 赤松幹之より説明があり、以下の修正が確認された。

※変更箇所：「大阪市」→「東京都」、「モバイル'14」→「モバイル'13」

修正後の内容について、議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

続いて、平成 25 年度会計収支予算について理事 赤松幹之より説明があり、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

また、学会誌の発行数について質問があり、学会誌担当 理事 大門樹と事務局より投稿数が揃わなかったため 1 月に発行予定であった 1 号が 7 月の発行予定としているとの説明があった。

議題 シンポジウムの件

モバイル'13 (担当: 理事 木暮祐一): モバイル'13 について、以下の報告がなされた。

発表件数 59 件、共催 3 件、事前登録参加者数 86 名。

モバイル'14 (担当: 理事 萩原啓): モバイル'14 について、以下の説明がなされた。

- ・開催日程は 3 月 13,14 日を予定。学内施設の予約が 4 月以降であることから、確定はその後となる。
- ・会場費については、行事内容などで変更するために、大学との協議となる。
- ・特別講演について理事会での推薦をお願いしたい。理事 赤松幹之より、特に関西圏から候補を出していただきたいとの発案があった。
- ・理事及び企画委員には、オーガナイズセッションの企画をご提案いただきたい。
- ・テーマは検討中である。

議題 モバイル研究会の件

第 15 回モバイル研究会 (担当: 理事 宮尾克)

担当理事に代わって、理事 長谷川聡より以下の説明がなされた。

- ・2013 年 6 月 22 日 (土) 午後、名古屋文理大学文化フォーラム (現稲沢市民会館) 小ホールにて計画している。
- ・講師として、山内太地氏 (タブレット端末を利用した教育に関して) の提案なされ、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

第 16 回モバイル研究会 (担当: 理事 安藤明伸)

理事 安藤明伸より以下の説明がなされた。

- ・他の学会とのジョイント企画として教育関係のテーマにて検討中である。
- ・仙台市にて実施することから、被災地視察について提案があった。この件については、継続して検討することとなった。

今後の研究会の担当について、議場に諮ったところ、2014 年 春に予定されている第 17 回モバイル研究会を理事 篠原一光にご担当いただくことに、2014 年 秋に予定されている第 18 回モバイル研究会を理事 丁井雅美にご担当いただくこととなった。理事 丁井雅美は、これを了承した。理事 篠原一光には、後日 了承を得ることとなった。

議題 研究奨励賞について

モバイル13 実行委員長である理事 木暮祐一より、選考経緯の説明がなされ、最優秀賞 1 件、優秀賞 3 件が提案された。これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

議題 学会論文誌投稿規定の変更について

資料に基づき学会誌編集委員長の理事 大門樹より以下の提案がなされた。

a)これまでの理事・企画委員会における議論に基づき、原著論文に2つのカテゴリー(「分析・実証的研究」と「構成・提案型研究」)を設ける。

b)これに伴い、学会 Web 上の学会誌に関する説明を変更する。

これを議場に諮ったところ、学会として、企業による有意義な活動・手法・創作物(ノウハウ、工夫などの公益的知識・情報を含む)を広めることの重要性、この目的に沿った論文誌のあり方について議論がなされ、各々の提案については、今後メールにて審議を継続することとなった。

1. 議事録署名人の選任に関する事項

議長から、議事録署名人として、理事 長谷川聡と理事 川野常夫の 2 名を選任したいとの提案があり、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、午後 11 時 25 分閉会した。

以上の議事の経過の概要及び議決の結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人が記名押印する。

平成 25 年 3 月 7 日

特定非営利活動法人モバイル学会

議長：赤松幹之

議事録署名人：長谷川聡

議事録署名人：川野常夫